



KYOTO UNIVERSITY

OXFORD
UNIVERSITY PRESS

京都大学経済学部創設 100 周年記念
国際研究集会 Part II

Oxford Handbook of Industry Dynamics
Kyoto Centennial Industry Dynamics Conference
Part III

2019 年 10 月 1 日

エレナ・ウェストニーMIT スローンスクール名誉教授
特別講義

Learning Across Borders: Moving Organizational Patterns across Societies

司会: 武石 彰 (京都大学経済学部教授)



エレナ・ウェストニー (D. Eleanor Westney) 博士 略歴

カナダ生まれ。トロント大学で社会学の学士・修士を、またプリンストン大学で博士号(社会学)を取得、一橋大学経済研究所研究員(1975-76年)を経て、イェール大学社会学部にて採用される。1982年同大学組織論・経営学部助教授。同年、世界的に著名なマサチューセッツ工科大学(MIT) Sloan School of Management の国際経営・組織論担当助教授。同スクール准教授を経て、1995年教授(Sloan Fellows Chair in Management)。MITを2007年に退職後、カナダに帰国し、トロントのヨーク大学(York University) Schulich School of Business の国際経営担当教授となる。現在、

MIT 名誉教授・ヨーク大学名誉教授、Stockholm School of Economics 名誉博士。

ウェストニー教授の業績は組織論、多国籍企業研究、日本のビジネス・システム、日系多国籍企業、研究開発(R&D)の国際化など多岐にわたる。著書・論文も多く、スマントラ・ゴシャルと共編の『組織理論と多国籍企業』(1998)、アニル・K・グプタと共編の『スマート・グローバル化』(2005)の二冊の邦訳書を持つ。

